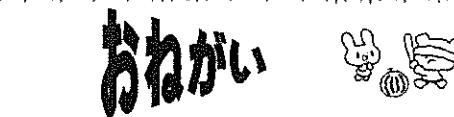
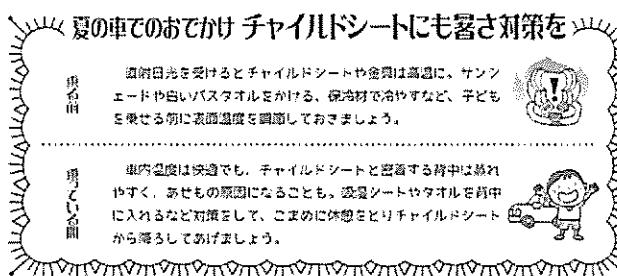




平成30年8月 あおぞら保育園

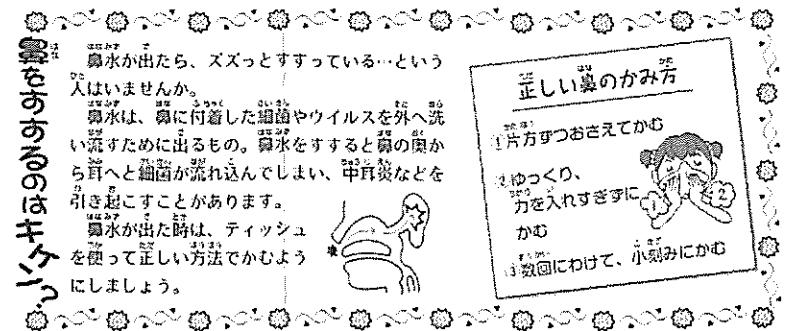
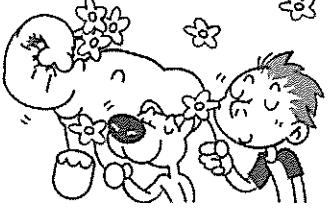
梅雨が明けると一気に暑さが増しましたね。いよいよ夏本番です。日中は、熱中症にならないよう毎日注意が必要です。水分補給や長時間の屋外での活動は避けるなど気をつけていきましょう。この夏、旅行などの遠出の計画を立てているご家庭も多いかと思います。外出先では健康面と安全面に気を配り、楽しい思い出が沢山できるといいですね。



- 暑い日が続き体力低下、免疫力低下により突然の発熱や下痢など体調を崩しやすくなっています。
- 便がゆるい、黄緑色の鼻水や咳が出ている場合はプールに入れません(服薬中も含みます)。無理してプールに入って体調が悪化するお子さんが増えています。軽い症状のうちに早めに受診しましょう。
- 蚊に刺された部位が悪化して、とびひのお子さんが増えています。蚊の唾液によって痒みが出ますので、洗い流してからかゆみ止めを塗りましょう。
- 発熱・下痢・嘔吐した場合は感染拡大防止のため、病院受診をお願いしております。ご協力をお願い致します。



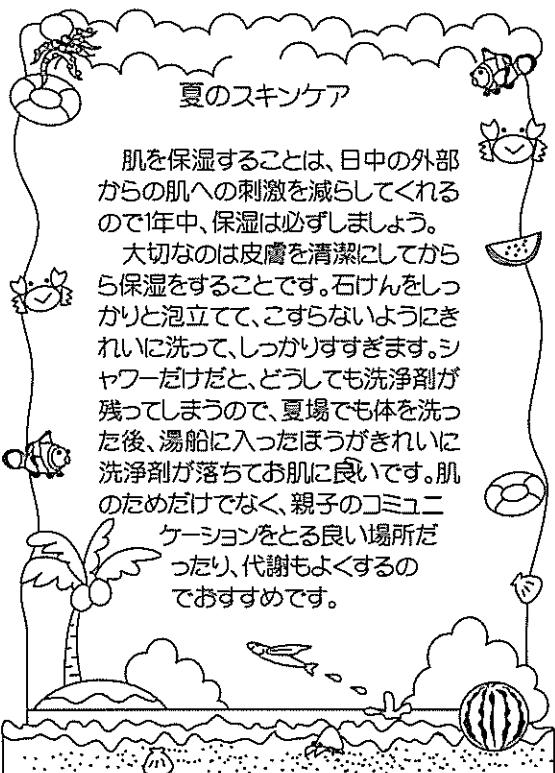
8月7日は鼻の日です



夏のスキンケア

肌を保湿することは、日中の外部からの肌への刺激を減らしてくれるの年中、保湿は必ずしましょう。

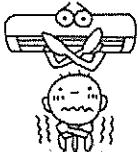
大切なのは皮膚を清潔にしてから保湿することです。石けんをしっかりと泡立てて、こすらないようにきれいに洗って、しっかりとすすぎます。シャワーだけだと、どうしても洗浄剤が残ってしまうので、夏場でも体を洗った後、湯船に入ったほうがきれいに洗浄剤が落ちてお肌に良いです。肌のためだけでなく、親子のコミュニケーションをとる良い場所だったり、代謝もよくするのでおすすめです。



子どものための涼づくり

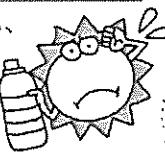
冷房の直撃は×

冷房の風が直接当たると、体が冷えすぎます。



遊び中も水分補給を

涼しく見える水遊び中でも、熱中症の危険があります。こまめな休憩と水分補給を。



直射日光に注意

日当たりが良い場所でのお昼寝は、室内でもかなりの暑さに。時間経過による日差しの向きにも注意。

子どもは大人よりも体温調節の能力が未熟です。暑い日は一層の気配りをお願いします。

夏バテは大丈夫?

生活習慣をチェックしよう

- 火を使わない料理が多い
- 食事は、めん類や果物などで簡単にすませがち
- 野菜はほとんど食べない
- 冷たいジュースや清涼飲料水をたくさん飲む
- 汗をかきたくないので、水分をあまりとらない
- 冷房の効いた場所にいることが多い
- 入浴はたいていシャワーですませる
- エアコンを朝までかけっぱなしで寝ている
- 夜遅くまで起きている
- 運動はほとんどしない



いくつ当てはまりましたか?

- | | |
|------|-----------------------------|
| 0回 | これなら夏バテの心配もゼロ |
| 1~2回 | 今のうちにできていないことを見なおせば大丈夫! |
| 3~5回 | これは心配、後からじわじわ疲れが出そう |
| 6~8回 | このままではまずい!これでは夏バテ間違いなし |
| 9回以上 | もう夏バテでいるのでは?生活習慣を全般的に見直すべし! |

ベビーカーでの熱中症に注意

地面に近く、アスファルトの強い照り返しを受けるベビーカーの中は、かなりの高温になっています。また、日ざしをよけるためにレインカバーなどを掛けると、熱がこもって、蒸し暑い状態になることも。ときどきカバーを開けて換気をしたり、日ざしの強いときのベビーカー移動は、なるべく避けさせてくださいね。

